

3235 接地抵抗計



※付属のケースは写真と一部となります。

接地抵抗を常に保持するために
保守用測定器として活躍しています

- ワンダイヤルですばやい測定が可能
— 0 ~ 1,000 Ω までの対数目盛ダイヤル —
- 誘導ノイズの影響を受けない安定した測定
— 交流電位差計方式の採用 —
- 耐振動・耐衝撃性は抜群
— トートバンド支持方式とABS樹脂の採用 —

3235は測定範囲切換えのない電気的な対数目盛方式を採用の結果、第A種から第D種接地抵抗までワンダイヤルですばやく測定する、便利な接地抵抗計です。

また交流電位差計方式を採用しておりますので、外部の電気設備や電車軌道の漏れ電流等による誘導ノイズの影響を受けないのはもちろんですが10V程度の接地電圧や10kΩまでの補助接地棒の影響もほとんど受けません。

仕様

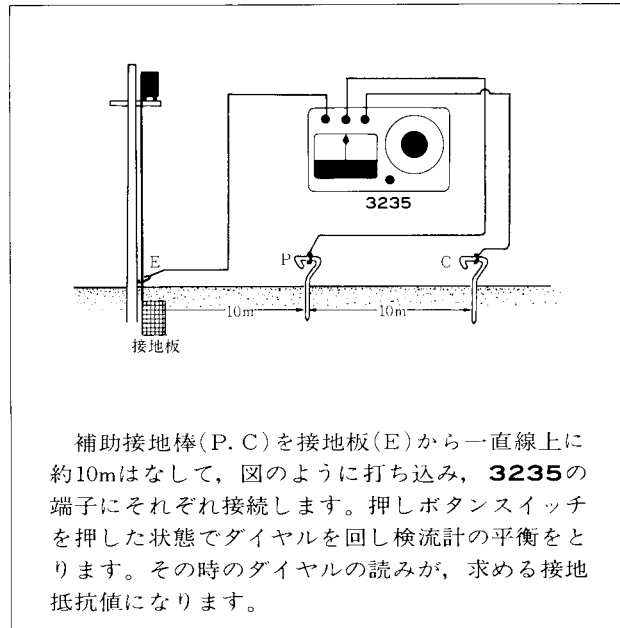
関連規格：JIS C 1304に準拠

項目	仕様
測定範囲	接地抵抗：0～10～100～1,000Ω(対数目盛) 接地電圧：0～30V
許容差	接地抵抗：0～2Ω…±0.1Ω 2Ωに対し±5% 2 超過20Ω…±0.5Ω 20Ωに対し±2.5% 20 超過200Ω…±5Ω 200Ωに対し±2.5% 200 超過1,000Ω…±50Ω 1,000Ωに対し±5% 接地電圧：最大目盛値の±5%
測定周波数	500Hz
外気温度の影響	20℃±20℃にて±1目以内
電池電圧の影響	動作状態で約4Vまで低下しても許容差内
接地電圧の影響	商用周波数、10Vにて 1目以内
使用電池	乾電池SUM-1：4個直列
絶縁抵抗	回路-外箱間 500V DC, 20MΩ以上
連続使用時間	約6時間
外形寸法	約140×210×135mm(かばん寸法)
質量	約2.5kg(かばんを含む)
付属品	乾電池：SUM-1 4個(現用) 携帯用かばん：黒色肩掛式 測定用リード線3本 接地用(緑)5m 電圧用(黄)10m 電流用(赤)20m 補助接地棒：2本 付属品収納袋：ナップザック式 取扱説明書：1部

●アクセサリ(別契約)補助接地網 B9646CG

補助接地網は、コンクリートあるいは堅い地面等で接地棒が打ち込めない場合とか、乾燥した砂れきや岩盤等で接地棒が打ち込めても接地抵抗が大きくなるような所では最適です。

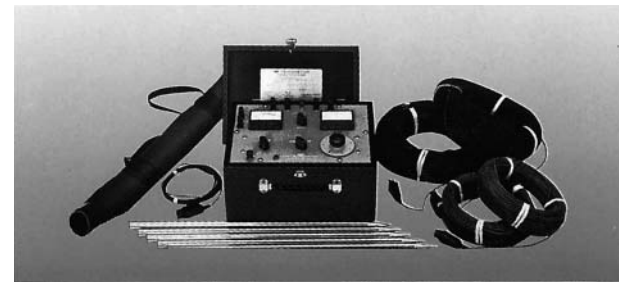
●測定方法



補助接地棒(P、C)を接地板(E)から一直線上に約10mはなして、図のように打ち込み、**3235**の端子にそれぞれ接続します。押しボタンスイッチを押した状態でダイヤルを回し検流計の平衡をとります。その時のダイヤルの読みが、求める接地抵抗値になります。

●関連機器

1Ω以下の低接地抵抗を正確に測定したい場合には、大地比抵抗測定器**3244**をご使用ください。



定価

品名	形名	定価(円)
接地抵抗計	3235 01	44,000
補助接地網(2枚1組)	部品番号 B9646CG	6,000

☆記載内容はお断りなく変更することがありますのでご了承ください。

YOKOGAWA

横河メータ&インスツルメンツ株式会社

インターネットホームページ

<http://www.yokogawa.com/jp-yml/>

▲安全に関するご注意

●正しく安全にお使いいただくため、ご使用前には必ず取扱説明書をよくお読みください。

東日本営業 〒190-8586 東京都立川市栄町6-1-3 立飛ビル2号館
電話：(042) 534-1456 ファクシミリ：(042) 534-1438

中部営業 〒456-0053 名古屋市熱田区一番3-5-19
電話：(052) 684-2012 ファクシミリ：(052) 684-2015

関西営業 〒564-0063 大阪府吹田市江坂町1-23-101 大同生命江坂ビル14階
電話：(06) 6385-9431 ファクシミリ：(06) 6385-9440

西日本営業 〒812-0037 福岡市博多区御供所町3-21 大博通りビジネスセンター
電話：(092) 262-5740 ファクシミリ：(092) 262-5741

技術的なご相談は… フリーダイヤル：☎0120-137046
E-mail：csgr@mcc.yokogawa.co.jp

お求め、お問い合わせは…

MIK-M24